

激 励 の こ と ば

皆さん、こんにちは。

福島県知事の内堀雅雄です。

本来であれば、「福祉・介護職員のつどい」として、私も参加させていただき、先輩職員からのメッセージや交流会を通じて、お互いの将来について語り合いながら親睦を深め、今後の仕事にいかしていただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催が困難となってしまいました。

福祉・介護の仕事は、高齢者や障がいのある方々が、自分らしい生活を送るために欠かせない、とても大切な仕事です。しかし、それだけに御苦労も多く、悩まれることも多いと思います。

そんな皆さんに直接、「ありがとう」という感謝の思いを伝えたかったのですが、代わりに、このような形でメッセージを送りたいと思います。

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、職員の皆さんにおかれては、施設を利用されている方々と直接、接することから、毎日、大変な緊張感を持って業務に向き合っていることと思います。

また、多くの施設では、利用者とその御家族との面会を制限されていると聞いております。利用者にとって、御家族と会えないことはとても寂しいことですし、また御家族にとっても、利用者の様子を直接見ることができないのは本当に辛いことだと思います。

そのような中、職員の皆さんが、どうかして利用者の元気な姿を御家族に見せることができないかと悩まれた結果、玄関のガラス越しにタブレット端末を通じて面会する方法などを考案され、御家族との面会を実現されたというお話を伺いました。利用者の方も御家族も、久しぶりの会話を楽しむことができ、どれほど嬉しかったことだろうと、私も自分のことのように感激いたしました。どのような状況にあっても、常に利用者の思いに寄り添い、創意工夫を凝らして対応されている皆さんの真摯な姿勢に、改めて深く敬意を表します。

一昨年の「福祉・介護職員のつどい」では、「イメージ変えよう 介護の仕事 笑顔あふれる 幸せの場所」という、すばらしいキャッチコピーが創られました。先ほど御紹介したような取組は、正に福祉・介護の仕事が、高齢者や障がいのある方の「笑顔あふれる 幸せの場所」につながっていくものと感じています。そして何より、皆さん自身が元気に笑顔で御活躍されることを願っております。

県といたしましても、福祉・介護の最前線で活動されている皆さんが、これからもそれぞれの職場でやりがいを持って安心して働き続けることができるよう、関係団体と共に全力で応援してまいります。

結びに、皆さんのますますの御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げ、激励のことばといたします。

令和3年8月20日

福島県知事 内堀雅雄